

# あつま

## 議会だより

6月定例会号

No. 140

平成22年7月発行



(宇隆 山口農園のハスカップ)

目次	掲載ページ
○委員会活動レポート	
・ 総務文教：宮の森保育園の室内灯改修、子育て支援、小学校の太陽光発電 厚真町地域公共交通総合連携計画	2
・ 産業建設：特産品の開発事業及び加工場、農家後継や就農希望者に対する研修機能	3
○一般質問	
・ 予算執行時期・富野、軽舞小学校跡地の再利用計画	4
・ 幼保一元化の推進・地域公共交通体系の構築	5
・ 高規格道路のサービスエリア・地場産業の振興策・役場周辺の道路環境整備・ 景観に対する意識・防災対策・中学校、高校の部活動への支援・ 観光資源の有効活用・まちづくりの長期ビジョン	6
・ 学校行事での国歌斉唱	7
・ 子宮頸がんワクチン接種の公費助成	8
○研修レポート：北海道町村議会議員研修会	9
○フォトレポート：町内行政視察	10
○議決案件（賛否状況）	11
○臨時議会報告、あとがき	12

# トポシ動

## 概要

### 総務文教常任委員会

委員会は去る4月21日、事務調査現地調査を行い、その結果を第2回定例会に報告した。事務調査4件、現地調査1件より抜粋



宮の森保育園

#### 宮の森保育園 の室内灯改修

- Q** 今回設置したLEDと蛍光灯の価格差は。
- A** 蛍光灯が一本730円ぐらいであるのに対し、40WのLEDは1本2万3千円であり、蛍光灯に対して30倍の価格である。
- Q** 目、心への影響や、CO2の削減も含めて検証する必要があると思うが今後どのような取り組みを考えているか。
- A** 今はまだ値段が高いため、もう少し普及を待つて調査をしながら検証を進めたい。

#### 子育て支援

- Q** 医療費還元事業で発行したポイントと領収書の確認を毎日行っているか。
- A** 月締めでチェックをしている。
- Q** 日計でチェックをする必要があるのではないか。
- A** 日々のチェックが非常に重要だと思うので、間違いのないようにしたい。
- Q** 領収書を2、3か月分まとめて持つてくることに対して心配はないか。
- A** できるだけ一ヶ月で対応できるように窓口で説明している。
- Q** この事業はいつまで続けるのか。
- A** 財源的に可能であれば続けてゆきたい。
- Q** 有効期限についてはどのようになっているか。
- A** ポイントカードと金券の有効期限は1年。領収書の有効期限はない。

#### 小学校の 太陽光発電

- Q** 設置場所が屋上となつているが、教材として児童が触ったりすることができるのか。
- A** 非常口から出入りするなどしてパネルに触れることができるようにしたいと考えている。
- Q** 今回上厚真小学校に設置されないが、同校の児童への対応は。
- A** 中央小学校に来て体験していただく。
- Q** 両方の小学校に設置することはできなかったか。
- A** 当初2校で検討していたが、上厚真小学校は強度に問題があり設置できなかつた。
- Q** 小規模なものでも上厚真小学校に設置できなかったか。
- A** 小規模なものであれば設置が可能であると思うので、検討させていた

#### 厚真町地域公共 交通総合連携計画

- Q** 乗り合いタクシーの料金体系は。
- A** 料金はこれから部会で決めるが、所管課としては現在100円のところ500円ないし300円と考えている。
- Q** 福祉バスか乗り合いタクシーのどちらかに絞つていくのがよいと思うが。
- A** 各地域で行事のある時などは一度にたくさんの方が乗ることもあると思うので、循環福祉バスと乗り合いタクシーを共用したいと考えている。
- Q** 今回の実証試験のエリアに、ルーラルや新町を含めることができな
- A** 路線バスとの競合区域になるので、路線バス会社との協議が必要である。協議が成立すれば、来年度以降に運行試験エリアに含めることができる。

## 産業建設常任委員会

### 質 疑

委員会は去る4月23日、事務調査を行い、その結果を第2回定例会に報告した。事務調査5件より抜粋

#### 特産品の開発事業及び加工場

**Q** 特産品を、これという品目について絞りきっているか。

**A** グリーン・ツーリズムとして、まだ絞りきったものはない。いま個々に特産品を開発して販売されている方が町内に多数いる。その方々をまず体系化するということが、知恵を絞れば新たな一品が出来るのではないかと、いうことも考えている。

**Q** 富野小学校の跡地利用へ向けた話の進み具合はどうか。

**A** 現在、庁内の土地利用検討委員会において、町民からの要望もとりとめていく段階である。内部委員会での検討結果として福祉施設としての利用や学童保育での利用もあった。郷土資料館的な使い方が出来ないか、食品加工場のようなことも出来ないかということも論議されているが、ま

#### 農家後継や就農希望者に対する研修機能

だ方向性は決まってい

**Q** 食品加工場については、ここで何をしようと考えているのか。

**A** ピンポイントで何かということ、まだまだこれからになると思う。今のところはグリーン・ツーリズム推進方針策定委員会で検討している。

**Q** 新規就農で、町内に入ってきた方々同士や町民との交流の機会は設けているか。

**A** 町独自では交流の場を設けてはいないが、普及センターで協議会を立ち上げてそちらに参加している。また、それぞれが連携を取りながら、農協の部会、組織に加入しており、交流も進んでいると思う。

**Q** 15年先になると農家戸数が半分くらいになるようだが、それに対しての考えは。

**A** 昨年7月実施の意向調査の中で、4分の3の方から15年以内に就農できなくなるという回答があった。農業を続けたいという思いもあるが、賃貸や流動化に期待と不安を抱えているのが現状のようである。

**Q** 農業後継者の資金利子助成は認定農業者に限定しているのか。

**A** 地域の担い手という観点からの支援でもあり、将来的に認定農業者になってもらうということを前提として考えていきたい。



ソーセージ加工体験教室



# 問う！！

## 予算執行時期・富野、軽舞小学校跡地の再利用計画

**Q** 予算の早期執行で事業の効率化を

**A** 早期発注の体制を整えたい

**問** 従来からの予算執行のシステムを考えなおし執行時期に見合う予算の作成で、表面的に隠れていた大きな無駄をなくす時期に来ているのでは無いか。

**町長** 公共工事の発注は設計、積算などの準備の後発注、補助事業は交付決定を受け、発注と言う足かせがある。なるべく早く発注できればこれに越した事は無いという事は私達も承知している。近年は経済対策で15ヶ月予算前倒しという、前年度で予算を組んで繰越明許で対応する、前倒しの執行と言う観点から、前年度3月の定例会において翌年度の工事の債務

負担行為をおこすという例外的な処置もある。

**問** 早く始めるメリットをあげると、工事費の割安感、天候のよい時期、遅い日没時間の作業効率の良さ、暖房など養生費にかかる経費の削減、季節雇用者の就労の場の確保、年度初めからの仕事があるという年間予定事業量の明るい見通し、など景気浮揚として業界および、町内全般に明るい



木本清登議員

話題性ができる、厚真町の活性化には欠かせないことである。

**町長** たしかに、単独事業については、私達も努力できる。ただ補助事業、大型事業については、道国の補助金決定の手続きが前提となる。なるべく早い交付決定が出来るようにこれから要請活動をしていきたいと思う。それは、厚真町だけの事情ではなく国全体の予算の効率化と言うことも含めて、要望活動をして参りたい。

**Q** 富野小学校、軽舞小学校の閉校後の跡地利用をどう考えているか

**A** 定住人口の増加や子どもたちのために活用出来ればと考えている

たい。3月の公募に応募された皆さんの非常に熱意のあるご提案があったことに感銘している。その活用する最終的な期待は、やはり定住人口増加などか、基本的には子供達が元気で笑顔が広がるような活用策が実行できればと思っている。厚真町の歴史や風土を無視出来ないもので、そういったものとの連携等も十分に整合性の取れるものになるように期待しているところである。起業、活用するためには、それ相応の資金が必要になるかと思う。そういった事を考えると、どの程度の支援策が必要になるのかを含めて、いろいろ条件を整えると言う意味でももう少し時間をいただきたい。

**問** 町の「地場産業の活性化、定住人口増加促進効果、少子化対策」などを期待する公共性の高い施設への転用など、目標を定めた方向性を持って検討するべきではないか。  
**町長** 当然学校施設なので地域の期待に応えるのが大前提である。地域、もしくは町の活性化に資する目的に使い

6月定例会の一般質問を要約してお知らせします。

詳しく知りたい方は、議会事務局、議会ホームページまたは青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。

# 町政を

## 幼保一元化の推進・地域公共交通体系の構築



井上次男議員

**Q** 幼保一元化を推進する必要があるのではないか

**A** 「認定子ども園」化を検討したい

**問** わが町には幼稚園はないが、京町保育園とへき地保育所、あわせて4施設が運営されている。将来に向けた保育園のあり方を考えたとき、へき地保育所の閉園を含め、保育園を上厚真の宮の森保育園と京町保育園への統廃合を視野に入れた、「認定子ども園」又は「幼保一元化」を推進する必要があるのではないか、本町として具体的な構想を伺いたい。

**町長** 厚真町全体では待機児童はいない。京町保育園入所の要件を満たさない方も多いが、へき地保育所に他の地域から入所しているという実態がある。

また、小学校に入る前段階としての教育的な視点を求められている方もいる。

そういった中では、保育所よりは幼稚園的な性格を持たせた認定子ども園に移行した方が、保護者の方々の要望に応えら



京町保育園

れるのではないかと考える。みつば・さくら両保育所の統廃合も視野に入れて京町保育園の認定子ども園化を図ることを検討していきたい。

**問** 京町公園全体を利用して保育園を増設する考えはあるか。

**町長** 用途廃止、または一部変更するのも大変に難しい。公園施設も一部老朽化が進んでいるので、改修する際には、前庭的に活用出来るような公園に出来ればと、内部で議論はしている。

**問** 新しい地域公共交通が、デマンドシステム予約方式として利便性を含めた実証実験運行が実施される。なぜ効率の悪い循環福祉バスを残し、乗合タクシーとの2段階構成にするのか。その費用対効果を考える元となる借上額、1日の借上時間はどのくらいか。

**町長** 交通空白・不便地域を解消するために、デマンド交通システムの導入、循環バスの運行改善と公共交通としての利用促進を図りたい。実証実験として、幌内・高丘など一部地域で、自宅前まで迎えに行くデマンド方式の乗合タクシーを導入してスタートする予定である。実証実験後に循環福祉バスから乗合タクシーへ移行したいと考えている。運行時間は午前

**Q** デマンド交通システムの費用対効果は  
**A** 利便性が高まり利用者も増えるだろうと考える

8時から午後6時までの時間帯で考えている。より広い地域をカバーできるので、利用者は増えてくるのではないかと思う。費用対効果は上がると考えている。

**問** 利用者が少なければ町の費用の負担が少なくなるべきと思うが。

**町長** 利用者が少ななくても燃料費以外の固定費は掛かるので大きな削減はない。逆に同じ経費で対象地域を拡げているのではないかと思う。

**問** 現在の100円ではなく応益負担を求めめるのか。

**町長** より便利になるので多少の負担もしていただくのが流れてはいないと考える。

# 高規格道路のサービスエリア・地場産業の振興策・役場周辺の道路環境整備・景観に対する意識・防災対策・中学校、高校の部活動への支援・観光資源の有効活用・まちづくりの長期ビジョン

**Q** 埋蔵文化財などを観光資源として活用出来ないか

**A** 田舎まつりなどでの展示や町外での研究発表を行っている

**高規格道路のサービスエリア**

**問** 町域内の高規格道路にサービスエリアを設置できないか。

**町長** 高規格道路は、4車線化と浜厚真パーキングエリアの計画がある。サービスエリアの設置は、町の負担となるため、非常に難しいが、可能性がまったくないわけではない。

**地場産業（地元企業）の振興策**

**問** NPOも含めた町内企業に対しての支援と育成、起業誘導、企業誘致に対して、差別化した取り組みをする必要があるのではないか。

**町長** 融資については既存の制度で十分である。

小規模投資に対する支援は、まちづくり奨励事業で対応するが、既存の制度の枠にはまらないものについては、個別で相談を受け、場合によっては臨時予算でも対応する。

**役場周辺の道路環境整備**

**問** 役場周辺には公共施設が集中しているにもかかわらず、導入路の整備が不十分であり、抜本的改善計画が必要だと思われるが。

**町長** 庁舎、福祉センター、ゆくりなどの活用方法も含めて役場周辺道路の再整備を検討しているので、年度内には明らか



下司義之議員

かにしたい。

**景観に対する意識**

**問** グリーンツーリズムの推進に当たっては、まちの景観は重要な要素であり、道路標識についても安全性、デザイン性が

必要であると思う。厚南開拓線と豊沢富野線の交差点については、仮設看板が不十分に設置され、現在ある標識も安全性、デザイン性については非常に疑問のある対応方法である。このような対応になった理由はなぜか、また、デザインについて一元的に扱う担当があった方がよいのではないか。

**町長** 質問のような交差点は町内に80箇所程度ある。永久構造物の看板は

8万円から10万円かかる。デザイン性については、今までもまちづくり推進課で対応してきたので、これからも同課が中心になって関係課と調整するのが良いと思う。

**防災対策（ハザードマップ）**

**問** 洪水ハザードマップで上厚真の避難場所が、橋を渡った上厚真小学校となっているが、有効と言えるか。

**町長** 50年に1度の大雨の時に冠水する場所を、町民と役場が共有することを目的に作製したものであって、避難に当たっては早めに誘導するので問題ない。

**中学校、高校の部活動への支援**

**問** 中学校、高校への部活動への支援はどのような形になっているか。

**教育長** ここ数年変わっていない。

**観光資源の有効活用**

**問** 埋蔵文化財、歴史的財産を観光資源や学校教材として活用できないか。

**町長** 歴史的財産については掌握していないが、埋蔵文化財については、田舎まつりでの展示を行っているほか、町外での研究発表なども行っている。学校教育では副読本などを活用して、郷土資料や埋蔵文化財の活用をしている。

**まちづくりの長期ビジョン**

**問** 50年、100年後の厚真をどのように考えているか。

**町長** 50年、100年後も経済基盤は農業であると思う。また、苦東の開発も重要であるし、道央圏に位置しているということは非常に重要であり、今後移住、定住を進める。



## 学校行事での国歌斉唱



海沼裕作議員

**Q** 国歌斉唱をどのように指導しているか

**A** 学年ごとの指導計画に組み込み、偏りなく指導していると考えている

**問** 町内の学校に「国歌斉唱」を「国歌君が代」、「修礼」を「お立ち下さい、礼」と式次第を言い換えて読み上げるところがあるが、入学式、卒業式の国歌斉唱について教育委員会はどうか考えているか。

**教育長** 入学式、卒業式における国歌斉唱の取り扱い、学習指導要領や道教育委員会の指導に沿って適切に取り組んでいる。

**問** 厚真町にも、入学式に北海道教育委員会が国旗国歌の取り扱いに直接出向き調査に来ていたが、結果はどのようなものか。

**教育長** 「国旗は見えるところに設置してあるか、国歌斉唱はされているか」の調査に来ていたが、適合していたと報告を受けている。

**問** 式次第にある斉唱と修礼の意味はどのようなものか。

**教育長** 一人あるいは複数の方が伴奏を伴って同じ旋律を歌うことが斉唱であり、修礼は儀式の際に「一同礼」といった意味に使われ、始めや終わりの合図と理解している。

**問** あえて意味がないものであれば、式次第は「国歌斉唱」と「修礼」は現状にあわせ、「国歌君が代」と「礼」に変えてもよいのではないか。

**教育長** ひとつの学校だけが式次第と表現が一致していないので、今後、徹底されていないところには式次第の通り「国歌斉唱」「修礼」とするよう指導する。

**問** 式の中で、国歌斉唱と校歌斉唱には、歌う人数や個人ごと声の大きさに学校間で差があるのでないか。

**教育長** 国歌は校歌を歌う機会に比べ少なく、児童生徒が慣れ親しむということや、歌詞やメロデー

イのの違いから差が感じられると思う。

**問** 戦争といった仮想と国歌を結び付けた偏った指導をしているのではないか。

**教育長** 音楽の時間に「どの学年でも入学式や卒業式の必要なきにはいつでも歌えるようにしておく」とするため、すべての学校の学年ごとの指導計画に組み込み指導しているのは偏りは無いと判断している。

## みんなの町政です 議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う、大切な会議の場です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は9月初旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴に関するお問い合わせは、

TEL 27 - 2485 議会事務局までお気軽にどうぞ。

## 子宮頸がんワクチンの公費助成

**Q** 子宮頸がんワクチンの公費助成を

**A** 関係機関と相談して取り組んでいきたい



三國和江議員

**問** 町内で子宮頸がんで亡くなった女性はいるか。  
**町長** 子宮頸がんで亡くなった方は平成12〜21年度の10年間で50歳、85歳、95歳の3名である。

**問** 厚真町は大変健診に力を入れていますが、がん対策やその後のケアに対しての指導はどのようにしているか。  
**町民福祉課参事** 各種検診を行い、結果を本人に通知している。精密検査の結果、治療が必要な場合は当然医療機関に掛かることを勧める。その後のケア指導は町の保健師が訪問で行っている。

**問** 中学1年生から予防ワクチン接種をしてはどうか。全国で1年間に子

宮頸がんを発症する女性は、4、5年前までは年間約9、500人、そのうち死亡する方は約2、500人だった。しかし、この2、3年の間では全国で約1万5千人が発症し、そのうち約3、500人が死亡している。20歳〜30歳の死亡率が増加している。予防法として予防ワクチン、禁煙、野菜・果物の摂取が有効である。防ぐことが出来る病気である。町民の生命と健康を守ることが最優先である。

**町長** 町内の団体から、町民の署名名簿を持参されて、子宮頸がんワクチン接種に公費助成をお願いしたいと申し入れがあった。

宮頸がんを発症する女性から、子宮頸がんの予防ワクチン接種を検討してはどうかと、ご提案をいただいている。町としても前向きに検討したいとお話しをさせていただいた。

**問** 9歳から16歳の免疫力獲得率が高い時期に接種するのが効果が高い。これから関係機関と相談しながら進めていく。

**町長** 昨年12月、新潟県魚沼市が全国に先駆けて助成実施を表明した。また、東京都杉並区では中学1年生に対して中学進学お祝いワクチンとして3回に分けて費用を全額助成している。本町も公費助成を考える必要があるのではないか。

また、町内の医療機関からも、子宮頸がんの予防ワクチン接種を検討してはどうかと、ご提案をいただいている。町としても前向きに検討したいとお話しをさせていただいた。

**町長** 命を守るといふことは大変大切なことだと思う。すぐにでも取り組みたいという気持ちはあるが、このワクチンが去年の10月に承認、12月に発売されたばかりのもので、みなさんに浸透するのに時間が掛かる。そう遠くないうちに実施したいと考えているが、時期や助成の割合は明言できない。

**問** 3ヶ月前の予算委員会でも子宮頸がんワクチンの公費助成について質問している。町長の口からやると言って欲しい。  
**町長** 提言を真摯に受け止めて、公費助成のうえワクチン接種に取り組んでいきたい。

また、町内の医療機関からも、子宮頸がんの予防ワクチン接種を検討してはどうかと、ご提案をいただいている。町としても前向きに検討したいとお話しをさせていただいた。

### 町民のこえを募集

厚真町議会では、議会を傍聴した感想や「あつま議会だより」を読んでの感想、厚真町議会へのご意見を募集します。

#### 投書について

投書される方は、原稿にご自分のお名前と電話番号もお書き添えください。

「あつま議会だより」への掲載は、匿名を原則とします。

投書されたご意見・ご要望の処理結果は「あつま議会だより」にてお知らせします。

なお、お名前等の記入がない投書については、取り扱わないこともありますので、ご注意ください。

※投書は、FAXでも結構です。

FAX 0145-27-2328



去る7月1日に行われた議員研修会のレポートを紹介いたします。

# 北海道町村議会議員研修会

今村 昭一議員

元農水省農村振興局次長  
経済産業研究所上席研究員  
山下一仁氏

日本の農業は1960年を境にして衰退に入ってきた。65歳以上の高齢農業者の割合が1割から今は6割となっており、農地面積では、かつて700万haを越えていたが今は農地461万haしか無く、うち水田は250万haとなり、実際の米作りは150万haとなっている。

WTO関税交渉において、70%削減が決められたが、日本は、米だけは例外を主張し、ミニマムアクセスの追加を受け入れ、現在77万トンを入力している。これは国内の需給に影響させず、外国の支援要請に対応するため、保管を続けるというもの、1万トンの保管に一億円かかる、また、長期の保管でカビの発生、汚染米があった。今後、少子高齢化と人



口減少時代を迎え、総消費量は現在の900万トンから350万トンとなるだろう、米作は50万haでまにあうという。日本の農業は縮小せざるを得ない事になるが、解決策はある。

改革として、①米の減反や価格維持政策を段階的に廃止し、一定規模以上農業の効率化を促進させる対象者を絞った、直

接支払いを交付。②規模拡大による効率化で、コストダウン、輸出による国産農産物需要拡大を図る。という事で、自由貿易こそ日本の食糧安全保障を達成する。

減反をやめて、米価が中国産価格も下回る9500円程度となれば、国内需要も拡大、自給率向上につながり、価格低下分の8割を主業農家に補

填しても、現在、減反にかけている額と同じ。また、関税引き下げも可能で、77万トンのミニマムアクセスも輸入しなくてすむ。関税による価格維持か、直接支払いか、E Uは先じて農政改革を行い、関税引き下げなどを行っている。

## 白鴻大学法学部教授 福岡政行氏

一点目、7月11日の参院選は「勝者なき選挙」となり、民主党の九月代表選では、岡田克也となる可能性が大きい。理由は消費税で、歴代、消費税の引き上げをテーマにした総理大臣は敗れている、事業仕分けでの不満もあり、増税で経済成長はありえない。

二点目、先日、大蔵官僚と食事したが、そのとき彼は「菅総理は理解が早い」といった。官僚の言うことをすぐ理解するということとは、言いなりではないか。官僚の手の

ひらに乗って、増税路線に入ったのではないか。

三点目、小沢問題であるが、検査審査会は8月上旬、再び起訴相当となり裁判となるが、推定無罪の原則で終わると思

う。

四点目、日本経済は三重苦になっている。一つは高齢化。団塊世代といわれる22年生まれは250万人いる。23、24年も元気でこの三世代で660万人いるという。2050年には人口9500万人高齢化率40%だろう。

もう一つは借金が2年後には1,000兆円になる。GDPが500兆ではとても返済できると思えない。

最後に税収減。昨年の国税、地方税合わせて70兆円、かつては100兆円あった税収であるが、今後の政治運営は覚悟していかなければならない。

# 平成22年度議会議員町内行政視察

平成22年度議会議員の町内行政視察が7月6日（火）に行われ  
ました。桜丘チャシ跡など9カ所を視察しました。



桜丘チャシ跡



新町公園・公衆トイレ



軽舞・古民家 斉藤邸



(上) 朝日試験ほ場での水稲生育状況  
(左上・左下) オエノンホールディングス  
バイオエタノール工場  
(下) 苫小牧東部国家石油備蓄基地





## 6 月定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

### 平成 22 年 4 月 28 日（水）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第 1 号	厚真町特別職の給与に関する条例の特例条例の制定	賛成全員
議案第 2 号	厚真町税条例の一部改正	賛成全員
議案第 3 号	厚真町立学校設置条例の一部改正	賛成全員
議案第 4 号	平成 22 年度厚真町一般会計補正予算（第 1 号）	賛成全員

### 平成 22 年 6 月 8 日（火）～ 6 月 9 日（水）（定例議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第 1 号	厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第 2 号	厚真町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第 3 号	厚真町国民健康保険条例等の一部改正	賛成全員
議案第 4 号	厚真町環境保全林条例の一部改正	賛成全員
議案第 5 号	厚真町地域情報通信基盤整備工事（IRU）請負契約の締結	賛成全員
議案第 6 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定	賛成全員
議案第 7 号	北海道市町村総合事務組合理約の一部変更	賛成全員
議案第 8 号	北海道市町村職員退職手当組合理約の一部変更	賛成全員
議案第 9 号	北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部変更	賛成全員
議案第 10 号	北海道市町村備荒資金組合理約の一部変更	賛成全員
議案第 11 号	平成 22 年度厚真町一般会計補正予算（第 2 号）	賛成全員
議案第 12 号	平成 22 年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	賛成全員
議案第 13 号	平成 22 年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第 1 号））	賛成全員
議案第 14 号	平成 22 年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	賛成全員
承認第 1 号	専決処分の承認（平成 21 年度厚真町一般会計補正予算（第 13 号））	賛成全員
意見書案第 1 号	農地や農業水利施設の整備を着実に実施する土地改良事業予算の確保を求める意見書	賛成全員
意見書案第 2 号	厚幌ダム建設事業の促進に関する意見書	賛成全員



## 第2回臨時会

4月28日開会

■厚真町特別職の給与に関する条例の特例条例の制定

■厚真町税条例の一部改正

個人町民税の扶養控除等申告と年金等からの徴収方法、たばこ税の税率について改正されました。

■厚真町立学校設置条例の一部改正

富野小学校・軽舞小学校の23年3月閉校予定に伴い、厚真町立学校設置条例が一部改正されました。

■一般会計補正予算

富野小学校、軽舞小学

校の閉校記念協賛事業補助金、合計280万円が追加され、予算総額は6億3,223万3千円になりました。



東海岸壁：  
軽舞小学校児童制作  
の大壁画

### 議会のうごき

- 5 月  
13日・足寄町議会視察来町  
27～28日・管内町村議会議長会定期総会
- 6 月  
2日・議会運営委員会  
8～9日・平成22年第2回定例会  
9日・議会改革調査特別委員会  
9日・議会広報特別委員会  
30日・宮城県大和町議会視察来町
- 7 月  
1日・全道町村議会議員研修会  
6日・町内行政視察  
7日・議会広報特別委員会  
12～13日・議会運営委員会自主研修  
14日・総務文教常任委員会  
20日・議会広報特別委員会  
22日・平成22年第3回臨時会  
22日・議会改革調査特別委員会  
26日・由仁町議会視察来町  
30日・産業建設常任委員会

あごき



核兵器廃絶に向けて日本政府が「ヒロシマ・ナガサキ議定書」をNPT再検討会議に提案し、採択に向けて各国政府に働きかけるよう、3月の町議会で意見書が議決され、政府に意見書を提出しました。

NPT再検討会議では原水協などが各国政府に要請活動を行い、690万人分の署名簿も提出されました。NPT再検討会議議長は「広い見識を持った要請文である」と評価し、国際会議を成功させるために日本の市民団体の活動や署名が大きな力となりました。

広報委員 米田 俊之